

放課後等デイサービスガイドラインによる自己評価について

2025年 1月

放課後等デイサービスハート亀沢

放課後等ディサービスの質の向上と支援内容の適正化を図る為、
放課後等デイサービスに基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率 : 職員100% (10名/10名)

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	訓練室のスペースは十分である。利用児童の行動特性により同じスペースを使用しても狭く感じることもある。職員の配置人数は適正であるが、食事介助、トイレ介助の必要があり時折不足と感じる事がある。また、段差が少なくお子様がつまずきにくい環境である。	児童の行動の特性や成長段階での様々な変化など情報共有をしながら、活動内容に合わせた動線の配慮を行っている。また、歩行が不安定なお子様もいるため活動中に必要以上にはものはおかないように注意しています。
業務改善	各児童の目標設定や振り返りは日々ミーティング等で行っている。年一回ホームページに評価を公表している。第三者評価については現在行っていない。月一回のスタッフ会議にて活動内容の提案・支援内容・方法の確認を行い、研修等を行っている。	各児童の目標設定・振り返りの時間をきちんと確保し、支援内容や方法の確認を含め職員全体で情報共有する。又、成長段階での変化に気づいた事に関してもしっかりと周知していく。第三者評価に関しては、現在検討中。
適切な支援の提供	スタッフ会議にて日々の活動の中で気づいた変化、成長の様子、問題への対応などを議題にあげ、話し合い職員全体で統一した対応策の提案を行っている。また、日たいイベントや課題を考え、提供できるようにしている。	日々の活動の中で、少しの変化にも気づく事が出来るように、ご家庭との普段からのやり取りや面談時、学校での様子の引継ぎ等で情報共有して、支援内容や目標設定を各自把握しながら対応の統一性を図っていく。平日・休日・長期休みに関しては、固定的にならるようにイベントや課題等を設けています。
関係機関や保護者との連携	関係機関との連携に関しては、電話やメール文書にて定期的なモニタリングの実施により事業所での普段の様子を伝えながら情報の共有を行っている。保護者との連携に関しては、送迎時の引継ぎ時や、連絡帳、定期的な面談にて普段の様子を伝え合う等している。	引き続き相談員、支援専門員や関係機関との連携を図り、日頃の様子や課題などの情報の共有を図っていく。
保護者への説明責任等	運営規定等は契約時に書面、口頭で説明している。子育ての悩みや苦情等は日々の送迎時や電話、連絡帳などを等して行いスタッフ間で共有し、迅速に解決を努めている。個人情報についてはお子様の名前等がわからないように加工等して注意している。	今後も送迎時や連絡帳等を活用して保護者様の意見や相談等を共有して解決に努める。
非常時等の対応	緊急時・防犯・感染症対応マニュアルの提示、定期的な研修を行っている。月一回のスタッフ会議などでのヒヤリハット・アクシデントの報告書にて事例報告を行うようにしている。また、委員会設置し、より専門的に虐待や、感染などの研修を行っている。	災害時に備え各事例ごとのお子様も一緒に避難訓練の実施して避難場所の確認をしている。ヒヤリハット・アクシデントの事例報告に基づいて情報の共有を図りながら改善策を会議などでしっかりと話し合い行動して行く。食物アレルギー等は職員に共有しておやつ提供の際には毎回確認しています。